

## WG 活動報告

### 3. 急性リンパ性白血病(ALL)【小児】

#### ① WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
<b>責任者</b> 加藤 剛二	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター血液腫瘍科
宇佐美 郁哉	神戸市立医療センター中央市民病院	小児科
加藤 元博	埼玉県立小児医療センター	血液・腫瘍科
長谷川 大一郎	兵庫県立こども病院	血液腫瘍科
河崎 裕英	関西医科大学枚方病院	小児科
森本 克	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
岡本 康裕	鹿児島大学病院	小児診療センター 小児科
後藤 裕明	横浜市立大学附属病院	小児科
石田 宏之	松下記念病院	小児科
菊池 陽	帝京大学医学部附属病院	小児科
高橋 義行	名古屋大学医学部附属病院	小児科
堀越 泰雄	静岡県立こども病院	血液腫瘍科
鈴木 信寛	札幌医科大学附属病院	小児科

#### ② 2011年1月末時点で承認された研究(※承認後に内容変更等で、不受理となったものは除く)

研究課題名	Principal investigator
小児急性リンパ性白血病に対する骨髄破壊的移植と骨髄非破壊的移植の比較検討	加藤 剛二

#### ③ 会議開催記録

日時	場所	会議内容
2011/1/30	東京医科歯科大学	研究テーマ及び共同研究者の検討

#### ④ WG の今後の活動方針・抱負など

小児 ALLWGにて提案されたテーマは小児 ALL に対するRISTの移植成績、High Risk ALL に対する造血細胞移植の decision making、第二寛解期での前処置別成績、同種移植後の再移植成績、Ph1-ALL に対する造血細胞移植成績、非寛解期移植成績、ダウン症を伴う ALL に対する移植成績、1-3 歳児の ALL に対する移植成績、同種移植後の DLI の効果等、多岐にわたります。またその多くが対象年齢を 18 歳までとし、思春期の症例も含めて解析の予定です。ALL は小児悪性腫瘍中最も頻度の高い疾患であり、その解析結果は今後の治療指針の方向性を定める上で重要と思われれます。